

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームウェルケアみどろ

作成日： 令和 2年 4月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	5 b.c.d	日々の支援に繋がる記録様式のさらなる活用や改善が必要。利用者の暮らしの様子や職員の工夫などが生活記録に個人差がみられる。すべての職員が充実した記録をかけていない。	すべての職員が、利用者の日々の様子や職員の対応の工夫を読み手に理解ができるような記録が残せるようになる。	・分かりやすい記録方法を見直し、全職員でその記録方法を統一をする。 ・職員の記録を各ユニットの管理者が確認をして、記載方法などの助言を行う。 ・経験の少ない職員はベテラン職員の記録方法を参考にして記録をするようにする。	6 か月	
2	2a	アセスメントの生活歴やその人の人物像や趣味などがアセスメントシートに反映されていない。ホームでの生活で知り得た内容をアセスメントシートの更新時に記載して、新しい職員も分かりやすく、ベテラン職員も再確認ができるようにした方が良い。	再アセスメント方法の見直しを行い、その方の生活歴や人物像、趣味などが理解できて、支援に繋がるようになる。	・介護保険の更新時に再アセスメントを行っている。それまでに知り得た情報をアセスメントシートに追記するようにして、次回アセスメント時に活かすことができるようにする。 ・生活歴や趣味など知り得た情報を調査台帳にも追記するようにする。	12 か月	
3	51b	運営推進会議を活用して認知症ケアの勉強会を行うなど、地域のなかで認知症ケアの実践力を活かした活動が望まれる。	認知症ケアの知識、実践力を地域に情報発信して、高齢者の相談などをしやすい体制づくりをする。	・運営推進会議を活用して認知症ケアの情報発信を行う。 ・区長、民生委員の方と連携をとり、地域の困りごとなどを一緒に考えさせて頂く。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1)項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。